

愛知淑徳大学コミュニティ・コラボレーションセンター(CCC)発行



コラボ通信

地域に根ざし、世界に開く

第9号
2007年6月12日

本号(第9号)より、CCC事務室で活躍している学生スタッフが、学生活動報告誌「コラボ通信」の企画・編集を担当することになりました!(学生スタッフについては、最終頁をご覧ください)淑徳生の活躍を盛りだくさんご紹介していきますので、よろしくお願いします!!!

cccとは??

地域のために、世界のために、自分のために。走り続けるあなたをサポートするのが、コミュニティ・コラボレーションセンター。地域社会と大学のパートナーシップを推進し、社会の一員として地域の発展に貢献します。

Community Collaboration Center

Volunteer
学生の自主的な活動と地域の方との連携を支援します。

Internship
企業、NPO・NGO自治体と連携し、実社会を学びます。

地域との連携・協働
社会参加・貢献活動を通して、学生が大学で学んだ知識を地域に活かせるよう支援します。

...淑徳生からの質問・疑問にお答えします...

≡CCC利用状況≡ (4月分・5月分) 質問 .CCCを利用している学生は、どのくらいいるの??

	ボランティア関連	インターンシップ関連
合計数	4月: 350人 5月: 257人	4月: 391人 5月: 795人
利用内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動参加に関する情報収集、及び相談 ・ボランティア保険加入手続き ・ボランティア活動参加申込み ・ボランティア活動参加後の報告 	<ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップ関連授業に関する質問、相談 ・インターンシップガイダンス登録申込み ・JAL他研修機関へのインターンシップ申込み ・インターン申込みに関する事項(申込書類提出、履歴書訂正、面接情報確認など)

≡CCC利用者の声≡ 質問 .CCCを利用した学生の感想を知りたい!

- ・CCCスタッフの方がとても明るくて、利用しやすい施設だと思います。
- とても親切に相談に乗ってくださるので、みんなに利用して欲しいです。(文化創造学部・3年生)
- ・私はCCCを利用して多くの活動に参加しています。授業を通して、ボランティアやインターンシップに参加することによって、視野や人脈が広がりました。(コミュニケーション学部・3年生)

インターンシップ特集

淑徳生を昨年受け入れてくださった、インターンシップ研修先のご担当者の方にインタビューをしました！

今夏、インターンシップに参加する学生さん必見ですよ!!!



Q1 . インターンシップと、職員（社員）として求める人材は違うのでしょうか？

非常に難しい質問ですね...。
究極的にはどんな状況でも**“求められる人材”に違いはない**と思います。
ただ、受け入れる側のNPOや企業の考え方、担当者の考え方で、単純にマンパワーと考えるとところもあれば、一緒にその組織を作っていくという姿勢で対応するところもあります。
ここの確認はインターン、企業など、どの面接でも重要なポイントだと思います。

Q2 . こんな学生お断りトップ3を教えてください。

1. 受動的な学生
2. アルバイトの1つと思っている学生
3. インターン期間で自分なりの達成目標を持っていない学生（**“やりたいことを見つける”これも立派な理由です。**途中で変わってもOK）

Q3 . インターンシップを通して学んでほしいことは？インターンシップ期間中に持って欲しい心構えはありますか？

インターンシップ期間中に持って欲しい心構えは
『自ら学ぶという姿勢』
『いろんなことを吸収したいという貪欲な姿勢』

インターンシップを通して学んで欲しいことは
『学生も市民、地域の住民であるということ』
『1人の力は小さくても、物事の始まりはどんなときも1人から始まっている。その1人になって欲しい。』
『人生の目的がお金を稼ぐことではなく、お金を目標達成するための1つの道具であるということ』

Q4 . 学生生活の中でのインターンシップの位置づけはどのように考えていますか？

インターンシップは人によっては、**その人の人生を変えてしまうほどの効果を持っているし、何の役にも立たなかった**と思う人もいます。

Q5 . インターンシップで学生を受け入れる理由を教えてください。

受け入れを学生だけにかぎっているわけではありません。
ただ、学生に期待するのは、**今後の社会、環境を変えていくのは、自分達もその一員である**ということに気づいて欲しい。
そして、**社会に出たときに、その職場、立場で“志”を持って頑張**って欲しいです。

今回は、環境分野で活躍するNPO団体のご担当者、インターンシップ研修に参加する学生の心構えなどをお聞きしました。

インターンシップに参加する学生に限らず、学生生活を送る上でのヒントがいっぱい詰まっているように思います。

次回は、企業の方へのインタビューです!!
お楽しみに!!!



ボランティア活動報告

今年度も様々なボランティアに多くの淑徳生が参加しています。参加したみなさんには、「参加して感じたこと」を“ボランティア活動記録”として残してもらっています。

ここでは、その中の一部を紹介します！ 初めてボランティアに参加する方は、ぜひ参考にしてください。

高齢者の方との交流（外出支援）

デイサービスセンター平和が丘：
徳川園お散歩のお手伝いをしました！
文化創造学部 4年生 紀藤貴彦さん

私がお相手したおばあちゃんがとても外交的で、初めて参加したことを忘れるくらいでした。

皆さんでハイチーズ



おばあちゃんと紀藤君

子どもとの交流

寺子屋 in 貴船小学校：
子どもや障がい者の方々と一緒にグラウンドゴルフ、こまをして楽しみました！
現代社会学部 3年生 柴田督史さん（他参加者：同学部学年 朝倉浩之さん）



すっかり仲良しの子ども達と柴田君

普段、子どもや障がい者の方と接する機会があまり無く、嫌いというわけではないけれど、どう接すればいいのかわからず苦手意識がありました。でも一緒に遊んでみて、障がい者の方の笑顔を見られたり、子ども達が一緒に遊ぼうと誘ってくれたりして本当にうれしく、とても新鮮な体験ができてよかったです。

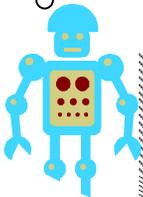


朝倉君と笑顔の子ども達

地域貢献

ロボットミュージアム：
子ども達が楽しく遊べるようにペーパークラフト作り等のサポートをしました！
コミュニケーション学部 2年生 横井見圭さん（他参加者：同学部学年 平賀綾さん）

なかなか小さい子どもさんと遊ぶ機会が持てなかったのが、すごく新鮮で楽しい時間を過ごすことができました。ボランティアを共に行った人達との輪も広がり嬉しかったです。最後に、あちらの社員さんから、「帰り際に子ども達が楽しかったから、『また来たい!!!』と言っていたよ」と言われて、本当にボランティアに参加してよかったと感じました。



この他にも、国際協力ボランティア「ウォーカーソン」のイベントサポートに参加した学生、子育てボランティアで児童館のイベントや「おもちゃ図書館」のサポートに参加した学生もいました。CCCには様々なボランティア活動の情報があるので、ぜひスタッフに聞いてください。

Study Tour



スタディツアーとは???



国際協力・交流市民団体（NGO）などが相互理解や体験学習を目的として行うツアーを指しています。

観光のみの旅行とは異なり...

- 現地事情や、NGOの活動などを学習できる
- 現地の団体や人々と、同じ目の高さで交流できる
- 参加者自ら、プログラムに参加、協力できる

という特徴を持っているツアーのことです。

出典/『スタディツアー・ワークキャンプ ハンドブック』スタディツアー研究会1998

人生の転機となった経験と出会い

私はNPO法人WAFCAが主催するタイの障害者福祉を学ぶスタディツアーに参加しました。人生の転機ともなったこのツアーではタイの言語や文化に触れることができたり、日本やタイの福祉の現状を学ぶことができ、車イスを使ってもっと出来ることを増やしてほしいと熱い思いを持って現状改善に取り組む両国の人々の存在を知り、私も自分の力でより良い社会を作るお手伝いをしたいと強く思うようになりました。世代、国境を越えたお友達もたくさんで、その方たちから学ぶことは多く、一生に残るとても素晴らしい体験をさせてもらえました。

「スタディツアーに参加してみたいけど少し不安...」という方も勇気を出して参加してみてください！必ず素敵な出会い、良い学びがあなたを待っています！



文化創造学部 4年生
今井麻紀子さん



英文学科 3年生
村井万穂さん

絆～ベトナムの子ども達が教えてくれたこと～

私はこの春休み、ベトナムのフエにある、親と一緒に住むことが出来ない子が住む、「子どもの家」というところで交流活動をしました。

子ども達は十分な愛を受けられず、心を閉ざしてしまっているのでは、と思いましたが、みんな常に笑顔で走り回り、おしゃべりをしていました。初めはどうして笑顔が絶えないのかわかりませんでした。しかし、「子どもの家」を見て、子ども同士は兄弟のようで、寮母さんや先生がお父さん、お母さんのような関係にあることに気がつきました。「子どもの家」には何も変えられない、「絆」がありました。絆こそ幸せにつながるのだと感じました。

私はこの旅に参加して、今まで見えなかった視点を持つことができるようになり本当に良かったと思いました。

発展途上国には活気と笑顔があった。

2月23日～3月5日の約10日間、ベトナム・カンボジアに行ってきた。ACHANという自立支援を行っているNPO団体の企画するスタディツアーで、ストリートチルドレン、肢体不自由児、HIV患者等の施設をいくつか見て回った。

ベトナム・カンボジアとは発展途上国であり、街にはバイクが走り回り、皆が朝から晩まで働いている。そんな日常から少し隠れたところにだいたい上記の施設があるのだが、その中にいる人々、特に子供たちは元気いっぱいであった。ベトナム・カンボジアのあの活気が失われぬまま発展していけばきっと今ある先進国よりすばらしい国になっていくだろうと感じた。微力である私が今できることは、今回の体験をより多くの人々に伝えていく事ではないだろうか。

少しでも興味のある人、話を聞いてみたい人、逆に何か知っている人がいればいつでも話しましょう！



現代社会学部 4年生
植村康平さん（撮影）

堀川フラワーフェスティバル

2010年堀川開削400年イベント

「堀川フラワーフェスティバル」に教職員・学生が総勢200名で参加しました！

市民の堀川への美意識を喚起させることを目的に、2010年堀川開削・名古屋城400年イベントとして開催されている「堀川フラワーフェスティバル」へ、教職員・学生が総勢200名で参加・協力しました。同イベントは、堀川の中央に位置する「納屋橋～錦橋」間の護岸を花で飾り、市民に親しまれる環境づくりの一環とし、2007年5月12～27日の16日間、開催されました。

参加内容 護岸の環境美化サポート



花がいつまでもきれいに咲きますように！

5月12日～19日の8日間、教職員と学生が交代で総勢50人が花の水やりに参加しました。



文学部3年生 安藤愛美さん
いつも何気なく通り過ぎている堀川でしたが、活動場所に着くと、そこには綺麗な花がたくさんありました。川沿いにも花が飾られていて、これは枯らしてはいけないという気持ちになりました。
(他参加者:文学部3年生 安藤萌さん)

1週間、頑張りました！

参加内容 5月26日 愛知淑徳大学Fiesta in ぼりかわ

企画・運営 愛知淑徳大学 大学祭実行委員会

文学部3年生 北上和樹さん

この活動では、私自身多くのことを学べました。堀川の浄化PRを兼ねたこのイベントには多くの企業が参加しており、それらの企業の役員と深く関わる事ができ、貴重な経験をさせていただきました。ボランティア活動とは、「外に出ないとつくりえない人脈や経験」を得られるものだと思います。

これからも、大学祭実行委員として、また私個人としてもボランティア活動等に参加していきたいと考えています。



イベント終了の三本締め！
みんなで、パン！！！！

本院生がペルーの伝統舞踊を披露してくれました



参加内容 5月26日 オープンカフェ・フェアトレード

企画・運営 文化創造学部 多元文化学会



文学部3年生 都築佑那さん(当日ボランティア)

フェアトレードのコーヒーと、障がい者さんが作ったパンを販売し、フェアトレードを知ってもらうだけでなく、青空の下でオープンカフェを楽しんでもらえました。この日は本当に暑かったですが、スカート風の民族衣装は涼しくて素敵でした



CCC開設科目「コミュニティ・サービスラーニング」

2007年5月18日(金)

名古屋市西区・名古屋市立城西小学校

コミュニティ・サービスラーニングの授業で、「堀川まんが劇場」を公演しました！！

この「堀川まんが劇場」は、2005年の愛・地球博に Mori Zoo・キッコロメッセにおいて名古屋堀川ライオンズクラブさんが1週間上演したものです。

愛・地球博の理念を継承し、環境活動の大切さを子どもたちに伝えることを目的に、市内の小学校へキャラバン公演を地域の方々と協働して実施しています。

(次回は、6月29日・名城小学校にて上演予定です。参加したい人は、CCCまで！)

=参加者の声=

地域の方々の堀川への熱い想いを感じ、子ども達に届け！と、私達の心も動かされました
文化創造学部3年生 唐木志穂さん



子ども達が楽しんでいる様子を見て私も嬉しくなりました。そして、もっとこれから素敵な紙芝居になるといいなと思いました。
文化創造学部1年生 牧野梨衣さん

CCC学生スタッフ紹介

長久手キャンパス

佐藤愛里 (現代社会学部3年生)
CCCを訪れる学生の生き生きとした表情を見ると、自ら積極的に社会と関わろうとする姿勢の素晴らしさや、様々な体験を通じて社会を目の当たりにすることの大切さを、日々実感します。私も、そんな学生達に負けなように、学生の中に沢山の経験をつみ、自分を高めて行きたいと思えます。もしなにかあったら、いつでも声をかけて下さいね。よろしくお願ひします。

原田良美 (ビジネス学部4年生)
私はインターンシップに参加して何をやりたいかを見つける事ができました。皆さんもインターンシップ制度を利用して自分の将来について考えてみてはいかがでしょうか？

星が丘キャンパス

近藤久恵 (文化創造研究科1年生)
最初の一步を踏み出すのはちょっと勇気がいるけど、CCCではそんな不安も飛びちゃうような場所です!!!ぜひ、一度、覗いてください。

佐藤元紀 (文化創造学部4年生)
ボランティアをしたい方の最初の一步をお手伝ひします。ほんの少しの興味でも大丈夫です!!あなたの思いをぜひ私達に聴かせてください。

安田なぎ子 (文化創造学部4年生)
私もみなさんと一緒に、社会のこと、地域のことを学んでいきたいと思っています。一緒に頑張りましょう

愛知淑徳大学

コミュニティ・
コラボレーションセンター



ご意見・ご感想はこちらまで...

E-mail: asccc@asu.aasa.ac.jp

〔編集後記〕新しい生活には慣れてきましたか? 「何かしてみたいけど...」と迷っているあなた!! ぜひCCCに来て下さいね 迷っていたら選択肢は2つ。やるか、めっちゃやる!! です。